

ため大忙しです。ナボボ病院の小児科病棟、産婦人科兼臨床検査室棟も無事完成、また52ヶ所の所Health Units も私たちの贈った医療器具、医薬品で活発に動いており開設された15ヶ所の乳幼児クリニックでは、B.C.G、D.D.T.、麻疹、ポリオの予防も行なわれております。前にJ.O.C.Sにお報せいたしました「人食いの村」といわれておそれられているアチャイカ村にも近代的センスをもった酋長様と御会いすることができ、母子センターを創設するようきまりました。また、ナース、医務員たちの再教育教室も好評の内に終了しました。先日は、遠い漁村「ニゴ」(前に報告しました)よりもっと遠いアタバ村から「是非きて下さい」とのことで、ことわりきれず出かけました。浅瀬のり上げたり、ほそい小さな水路に迷いこんだり、文字通り薄氷をふむおもいで、やっと夕刻になって辿りつき夜になって星をあおぎ蒼白の月光がさざなみにゆれる中を湿地帯に浮ぶ原生林のあいまを縫って白い船体の赤十字を輝かせながら帰りました。やってもやっても際限のない大波のようによせる仕事に身も心も疲れ果て、心のよりどころを求めにある日、ただ一人密林の中をドライブ、ライ村を訪れ、静かに祈りのときをもちました。またお目にかかるれ日をたのしみにしつつ。

(ガバナー月信 第11信より)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 4. 19	53名	41名	12名		
47. 4. 12	52名	41名	11名	8名	96.15%
在函クラブ	(4/6) 函館R.C. 90.48%	(4/4)	(4/4)	(4/7)	函館五稜郭R.C. 100%

5月3日の例会は休会  
次回例会日 5月10日  
プログラム「題 未定」  
山崎 会員  
(広瀬会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル9階  
ロータリー合同事務所  
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 5. 10

第397回 例会

1971~1972 第41号



深瀬鴻一郎 会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから (ブライツホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム  
「財預金 (勤労者の財産づくり) 制度について」  
山崎 尚 会員

第 396 回 例会 記録

- ◎司 会 船矢健喜智会長
- ◎斉 唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C. 浜下 政三君 他4名  
函館東R.C. 佐々木啓三君  
函館五R.C. 松浦 百秋君 他1名
- ◎会長報告 当クラブが400%Rotary Foundation Club になりましたので、ステイッ  
カーが来ております。
- ◎幹事報告

1、札幌R.C. 5月3日の例会は祝日休会

- 2、札幌幌南R.C.・函館五稜郭R.C. 5月5日の例会は祝日休会
- 3、広尾R.C. 5月28日12時(於児童福祉会館)創立10周年式典挙行 登録料 3,000円
- 4、本日例会終了後、理事会を開きます。理事の方並びにS.A.A.の方はお残り願います。
- 5、5月3日は当クラブの例会も祝日休会

●ニコニコボックス

川筋会員のかもめ丸が本日北洋に出航しましたので、無事安全と豊漁を祈って。

●卓 話 「珍談・奇談」 俣野 純夫会員

1867年明治維新の大偉業が行なわれ、日本の曙が訪れました。1870年(明治3年)には、平民に苗字が許され、1871年廃藩置県、1876年廃刀令が公布される等、新政案が次々と打ち込まれました。私は今日はまず第一話を「姓、について申し上げます。

平民に苗字が許可されるまでは御承知の通り、助さん、格さんを始めとして弥兵衛、興平、助一などと名前だけが通用しておりました。そこで全国一斉に姓が使用されるようになりまして村人は村の智識者、寺の和尚さん、元の床屋さんなどに相談して姓をつけました。そこで苗字には奇抜なものや沢山出来たわけです。大多数の姓は土地名をとったものが多いようでした。先年NHKで調査した姓のうち全国的に多いのが鈴木姓で田中、佐藤、伊藤などがこれに続いております。土地柄同じものが多いような傾向もありました。長谷川町子著「サ・エさん」の漫画で磯野一家の子供の名前が、ワカメ、カツオ、ヒラメ等の名前は人気ものでした。愛媛県のある海岸地方には苗字にヒラメ、マグロ姓があって郵便配達には困っていると聞きました。太平洋戦争中、私の当番兵に「水溜(ミヅタマリ)一等兵」がおりました。今でも雨が降ります時に水がたまると思出します。出征以来4年間部隊のため豚飼育係をしていた「水流(ツル)一等兵」がおりました。彼は4年間豚と暮して帰国してからは、養豚業をしようと言いましたが、今はどうしていることでしょうか?。又、奄美大島出身の「鶴一等兵」に手紙が来まして裏を見るとカメと書いてあります。お前に奥さんがいるかと聞きますと「はいおりますと言うので「何と言う名か?」と尋ねますと「カメです」と答えまして、一同吹出して大笑いしました。満州での印象に残ったものの一つでした。

去る21日(金曜日)朝日新聞の13頁に「姓・鰻(うなぎ) ぢゃいやだ」という見出しの記事が載っていました。御覧になられた方もありましょう。私の生国のことです。私も以前から承知しているところでしてよく読んで見ました。鹿児島県揖宿郡山川町に池田湖があります。あそこは鰻池と云われる地方です。そこには鰻姓が三十戸近くありましたが、最近出稼ぎや集団就職に出る様になって、メダカとかドジョウなどからかわれるので、氏変更届がふえて鰻姓は僅かに六戸になってしまったと言うことです。しかし年寄は別に出嫁もしないので祖先伝来の鰻姓を守っていると言う記事でした。

第2話に詐病について申述べます。先々週の例会で成田会員が「テンカン」に就いて詳しくお話がりましたが、軍隊から何んとかしてのがれたいと思ひあみだしたのが「テンカン」発作のまねをして軍医を困らした一症例です。ハルピンの陸軍病院に入院して4ヶ月間、毎週1〜2回の発作があり、すべての検査でも確定の病名が出なかったのですが、発作のおこり方がどうもおかしい。それは看護婦の入室瞬間に1番よく発作が

おこること。ベットの中心で倒れること、この点に注意していたところ、或る夜山形の旅館の息子だと寝言を言ったので、山形に問合せた所、近くに「テンカン」患者がいてそれを見ているうちに丁度ドモリのまねをしていて段々ともる事があると同じく、「テンカン」発作が上手になってしまったので、患者は兵隊がいやで「テンカン」発作を繰返し真似ていたことがわかりました。

次は神経痛(坐骨神経痛・上肢神経痛等)の話にうつります。私がいた満州部隊は召集兵、予備兵が大部分でしたので、あの極寒地方では5年間に多数の神経痛患者が発生しました。軍医でも短現軍医は臨床経験のない軍医が階級だけの中尉でありましたので兵隊の方で馬鹿にして結局神経痛の詐病にのせられることが多かったのです。それで若い軍医は部隊の診療を苦にしていました。大学教授が見習士官とか、少尉でしたからね。兵隊にすればたやすく練兵休がとれるのでおおげさに訴えるのです。或る部隊では演習前になると神経痛患者多発で検閲を前にして再診を先任軍医である私に依頼して来ましたそこで私は診療する前にメモをして置き、兵隊の兵舎の廁を下検分しておいて起床ラッパの鳴る少し前に廁のそばにかくれて見て居り、廁への通路での歩き振り、走り方を見て詐病を見破ることが出来て軍医部長からほめられました。

小便に走って行く様子を見てこれは「ニセ」ものと見破るのです。実際歩行難のものは歩行困難で事実が証明したのです。兵用の廁に入って兵隊の問答をきくことも軍医としては詐病発見の一つの手でした。軍医としてのスパイもなかなかの苦勞をいたしました。

第3話として切創また怪我についてお話しいたします。

去年の夏、新会員が着物の着流しで例会に出席されたことがあります。どうされましたかと尋ねますと、足の怪我をしたとのこと。遠藤先生に手当してもらってよくなりつつあるとのことでした。それでこの経過をお聞きした所、次の様な珍談が判りましたのです。去る日曜日に新さんは茂辺地の別荘に行かれて木の枝を切っていた所鉈がおちて足の上部に切傷をうけた。ホータイもないので手拭でしばって帰りの列車に乗ったところ美人ホステスが人もあろうに新さんを日雇の老人と思ひ違ひして、日雇にこんな所迄はたらきにこななくてもよかったのにと大変親切にしてくれ、手厚い看護をしてくれたとのこと足で投げ出して函館迄帰って来たそうです。家につきますと奥様にしかられまして早々に遠藤先生のところに行って傷の手当てを受け、三針縫合をしてよくなれたとのことです。日雇と間違えられた新元会長様のユーモアエピソードです。

最後に私の傷のことについて申し述べます。小学校にあがる前の出来事です。私の部落は現在戸数 600位で、昭和10年頃までには医者が入れ変って三代程開業しておりました。10年前からは無医の部落です。駐在所も7年前必要ないと言う有難い平和部落のため廃止になりました。私が怪我した時の巡査さんは川上さんと云って子供9人あって西南役に従軍され右眼を失っておられた方でした。

- 1、後頭部の切創は庖丁で妹に切られました。竹の子をいたづらしていたので棚にのつけたら後から来て頭をコツンと切られました。この時は人間を診る川畑医者に手当をして貰いました。
- 2、炉傍に赤毛の猫が眠っていたのを庖丁で足を、私が切ったところ祖母が人間をみる


医者につれて行って手当してなりました。

3、親爺が杉の皮を鉋でむいていた時、私が丁度木の下を通ったとたん木の枝が落ちて前額部に切りきずを受けた。この時は近くの獣医のところに連れて行ってヨードホルムを撒布してもらった。

4、夕方角力をとって圧肩関節脱臼した時は丁度偶然巡羅中の川上巡査と親爺とで整復してくれた。

こんなことを覚えていましたので、中学入学試験の時に口頭試問でついお前は将来何になるかときかれ、三宅光華先生に医者になりますと答えた次第です。三宅先生は後年関西大学教授をやられた方でした。

**The Rotary Foundation**  
of Rotary International  
1600 Ridge Avenue  
Evanston, Illinois 60201, U.S.A.



The above sticker may be affixed by its gummed back to the percentage certificate previously sent to your club.

Congratulations to your club on becoming a  
**100% ROTARY FOUNDATION CLUB**

The attached recognition is sent with the sincere gratitude of the trustees of The Rotary Foundation to all your members for their increasingly substantial share in the success and progress of the programs of the Foundation.

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 4. 26	53名	39名	14名		
47. 4. 19	53名	42名	11名	10名	98.11%
在函クラブ	(4/13) 函館R.C. 90.48%	(4/18) 函館東R.C. 96.59%	(4/14) 函館五稜郭R.C. 100%		

**次回例会日 5月17日**  
プログラム 「顔」 西巻 秀樹 会員  
(椎谷 竜彦 会報委員)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル9階  
ロータリー合同事務所  
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 5. 17

**第398回 例会**

1971~1972 第43号



深瀬 鴻一郎 会員

Good will begins with you 善意は先ずあなたから (ブライトホルツR.I. 会長指針)

本日のプログラム  
「顔」 西巻 秀樹 会員

**第397回 例会記録**

- 司会 船矢健喜智 会長
- 斉唱 君が代・奉仕の理想
- ビジター 陸前高田R.C. 白井 義男君 (流網漁業)  
清水R.C. 森安 広君 (漁業)  
小橋南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造)  
函館R.C. 四倉 太郎君 他9名  
函館東R.C. 吉川 正直君 他6名  
函館(五)R.C. 関 勝吉君

●会長報告  
新設の亀田クラブへの移籍予定者は現在のところ6名ですが、目標は10名です。本日は鈴木特別代表も出席して居られ、要望も御座いましたので、会員皆様の一層の努